

1.法人の概要

- 【法人名】 学校法人 津曲学園
【設立年月日】 大正12年4月1日 創立90年
【目的】 教育基本法及び学校教育法に従い、学校教育を行い、地域と時代の要請に応じる人材を育成すること
【理事長名】 津曲貞利
【法人の位置】 鹿児島市城西3丁目8-9
【設置学校】

学校名	学長・校長等名	所在地	電話番号
鹿児島国際大学	学長 津曲貞利	〒891-0197 鹿児島市坂之上8丁目34-1	099-261-3211
鹿児島国際大学 短期大学部	〃	〃	〃
鹿児島高等学校	校長 上村國博	〒890-0042 鹿児島市薬師1丁目21-9	099-255-3211
鹿児島修学館高等学校	校長 中村裕	〒890-0023 鹿児島市永吉2丁目9-1	099-258-2211
鹿児島修学館中学校	〃	〃	〃
鹿児島幼稚園	園長 阿久根修二	〒891-0145 鹿児島市錦江台1丁目20-1	099-261-7711

【設立目的】

津曲学園創立の陰には「母の願い」があります。学園創立当時の、創立者の貞助翁の家は県立第一高等女学校近くにありました。毎春入学試験合格発表の朝、志を果たせなかった少女たちが泣き崩れて門前を通る姿を見て、「勉学の意欲がありながら学ぶ場のない子女のための学校創設を」と息子の貞助に懇願したことが、そのきっかけとなりました。

一方明治以降、本県の教育は、その底流に官尊民卑・男尊女卑・士農工商の三つの風土的な特徴をもっていました。日頃からこれを憂慮していた貞助翁は敢然としてこの風潮に抗し、大正11年12月12日、私学振興をめざし「東西文化の融合」と「上下一貫教育」を目標とした「津曲学園建学趣旨」を世に発表し、女子教育普及をかかげて高等女学校を設立。次いで経済社会の発展を担う経済人養成をめざし、九州では私学として最初の高等商業学校を設立しました。

母の願いは実り、ここに新しい時代に即した、南日本の教育の殿堂が生まれたのです。

その後、戦争中における入学者の減少、空襲による校舎の壊滅、戦後における学制改革や財政的窮乏など、幾多の苦難を教職員とともに乗り越えてきました学園は、今日では、鹿児島国際大学・鹿児島国際大学短期大学部・鹿児島高等学校・鹿児島修学館高等学校・鹿児島修学館中学校・鹿児島幼稚園の6校を擁し、学生・生徒・園児数5,000人、教職員700人、卒業生総数134,000人に達する九州でも有数の学園に成長しています。

(平成25年4月1日現在)